

慢性心不全看護認定看護師

- 2012年に新設され、7年目の認定看護師分野です。
- 医療技術の進歩と高齢化社会により、心不全となる患者さんは増加しています。心不全の安定期、増悪期、終末期の各病態に応じた生活調整およびセルフケアの支援を行います。
- 心不全を繰り返さないために、上手く付き合っていく生活を患者さんやご家族と共に考え支えていくアドバイスをします。

☆役割☆

- **心不全患者の身体及び認知・精神機能のアセスメント**
- **慢性心不全患者の心不全増悪因子の評価とモニタリング**
- **QOLを高めるための療養生活行動の支援**
- **患者ケアや支援で困った際の相談**



山口 千恵子(2013年取得)

7A病棟:循環器内科・心臓血管外科

私が、慢性心不全看護認定看護師になろうと思ったのは、入退院を繰り返し徐々に日常生活が困難となり亡くられる患者さんの看護を行う中で、「患者さんやご家族が望んだ生活や最期をおくることができたのだろうか?」と感じたからです。心疾患は、増悪と寛解を繰り返し、徐々に日常生活が障害されます。「病気とうまく付き合う方法」を一緒に考えていきたいと思えます。

循環器領域では、まだまだ緩和ケアが遅れています。積極的な治療がすべてではありません。患者さんやご家族が納得の上で「治療をしない。家に帰って最期を過ごしたい。」などの希望があれば、その望みを叶えるために周囲の調整を行います！

オープンセミナーを年2回開催しています。
循環器苦手という方こそ参加してみませんか？
少しでも興味をもてるようになると思います♪